

2013 年度（平成 25 年度）

# 重 点 政 策

【実績まとめ】

～チャレンジふくやま 新たなる創造と飛躍～

## 福 山 市

福山市は 2016 年（平成 28 年）7 月 1 日に市制施行 100 周年を迎えます

## 2013年度（平成25年度）重点政策一覧（目次）

（単位：千円）

分野	柱立て	施策名	事業費 決算額 (再掲分含む)	決算額	うち、 緊急経済対策 分	再掲分	ページ
チャレンジ！100周年		100万本のばらのまちづくりの推進	120,888	120,888			1
		福山駅周辺を中心市街地の魅力の創出	120,633	13,575		107,058	2
		里山里地の再生・保全	38,035	38,035			3
		環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案	268,618	85,459	37,429	183,159	4~5
		21世紀を担う人材育成	1,163,430			1,163,430	6
		“持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク	5,437			5,437	7
<b>小計</b>		<b>5件</b>		<b>257,957</b>	<b>37,429</b>		
1 教育	学校教育の充実	小中一貫教育の推進	12,398	12,398			8
		地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）	1,099	1,099			9
	文化財の保護と活用	鞆地区町並み保存	4,183	4,183			10
<b>小計</b>		<b>3件</b>		<b>17,680</b>			
2 環境	地球環境の保全	LED防犯灯の整備	141,228	141,228			11
<b>小計</b>		<b>1件</b>		<b>141,228</b>			
3 活力	鞆地区の再生・活性化	鞆地区まちづくりの推進	417,320	270,411		146,909	12
	都市ブランドの創出と発信	「福山らしさ」の創出	145,243	24,355		120,888	13
	市民の自立と参画	協働のまちづくりの推進	10,785	8,684		2,101	14
	効率的・効果的な行政運営の推進	公共施設サービスの再構築	0	0			15
	地域の活性化	産学官連携の推進	1,577	1,577			16
		スマートIC（インターチェンジ）の整備	0	0			17
<b>小計</b>		<b>6件</b>		<b>305,027</b>			

(単位：千円)

分野	柱立て	施策名	事業費 決算額 (再掲分含む)	決算額	うち、 緊急経済対策 分	再掲分	ページ
4 福祉	障がい者・高齢者福祉の充実	障がい者・高齢者の相談支援体制の充実 (成年後見制度の利用支援など)	90,161	90,161			18
	社会参加に向けた自立支援	生活保護受給者の自立支援	12,009	12,009			19
	小計		2件		102,170		
5 安心・安全	地域医療体制の充実	病院施設の整備	1,130,542	1,130,542			20
		救急医療体制の確保	10,363	10,363			21
	消防・救急体制の充実	消防・救急体制の整備	1,218,443	1,218,443	705,510		22
	災害に強いまちづくり	水道施設の耐震化	40,997	40,997			23
		下水道施設の耐震化	302,141	302,141	250,000		24
		学校施設の耐震化	1,073,981	1,073,981	975,651		25
	安心・安全な給水の確保	出原浄水場の更新	1,072,342	1,072,342			26
	市民の安全対策	歩道・自転車走行空間の整備	325,396	278,571	121,570	46,825	27
		交通施設バリアフリー設備の整備	126,083	126,083	126,083		28
		LED防犯灯の整備(再掲)	141,228			141,228	—
小計		9件		5,253,463	2,178,814		
合計		26件		6,077,525	2,216,243		

## 各ページの見方

分野:

柱立て:

(決算額: 千円)

担当課:

(うち, 緊急経済対策分 千円 再掲分 千円)

期間	年度(平成 年度) ~ 年度(平成 年度)	数値目標
		数値実績 (2014年3月末)

【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

○緊急経済対策分

2013年度(平成25年度)に予算計上を予定していたもののうち, 国の緊急経済対策により2012年度(平成24年度)に前倒しして計上した予算額です。

○再掲分

他の施策に掲載されている事業のうち, 当該施策に関係があるものについては, 「再掲分」として決算額を計上しています。

○決算額

決算額は, 前年度から繰り越した事業費の決算額と当年度事業費の決算額の合計を表示しています。

【成果】

分野： チャレンジ！100周年

## 100万本のばらのまちづくりの推進(決算額:120,888千円)

担当課： 市民局まちづくり推進部  
協働のまちづくり課  
建設局都市部公園緑地課 ほか

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○ばらの植栽サポートプロジェクト

- ・「福山ばら大学（第四期）」や老人大学の「ばらづくり講座」において、ばらの魅力を理解し、伝えられる地域のばら栽培のリーダーを養成しました。  
(修了生：ばら大学60人，老人大学41人)

#### ○新たな名所，拠点となる場所の創出プロジェクト

- ・ばらのまちの魅力を高めるため，ローズロードの整備に向けての検討や駅家公園にばら花壇を整備するなど，新たなばらの名所づくりに取り組みました。

#### ○全市を挙げてみんなで取り組むプロジェクト

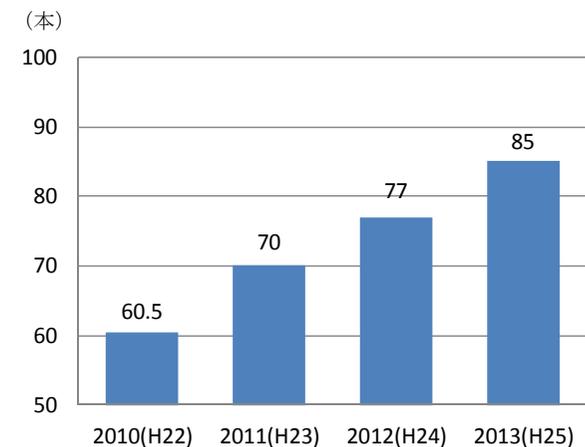
- ・小学校新1年生へ「ミニばら苗」をプレゼントし，また，新築住宅購入者へばら苗を配布することで，家庭でばらに親しむ環境づくりを進めました。

#### ○花だけじゃない！ばらのアピールプロジェクト

- ・「ばらのまち福山ホームページ」をリニューアルし，ばらのまちづくりやばら関連施設などに関する情報発信を行いました。
- ・市内2ヶ所において，食用ばらの試験栽培を行いました。



【入学記念ばら苗配布事業】



【ばら植栽本数の推移】

### 【成果】

- 市内のばらの本数：約85万本
- 福山ばら大学やばらづくり講座修了生を中心に，地域でばらを育てやすい環境づくりが進んでいます。
- ばらのイメージキャラクター「ローラ」やホームページによって，全国へ「ばらのまち福山」をアピールしています。

分野： チャレンジ！100周年

## 福山駅周辺の中心市街地の魅力の創出(決算額:120,633千円) (うち,再掲分 107,058千円)

担当課： 経済環境局経済部商工課  
観光課 ほか

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### ○「行きたい」魅力づくり

- ・ばら祭や夏まつりに加え、アートウォークやルクシアタなど、秋と冬のイベントを充実しました。
- ・ローズロード整備の検討(※再掲)など

#### ○「買いたい」魅力づくり

- ・イベントの開催等により、文化ゾーンと駅南の商店街との回遊性の向上に努めました。
- ・商店街内に市内の大学生の活動拠点を試行的に開設(※再掲)

#### ○「住みたい」魅力づくり

- ・新たな賑わい創出の拠点として、エフピコR i Mをオープンしました。(商業施設やえほんの国などの公共施設)

#### ○市民活動拠点の創出

- ・コーディネーター養成講座の実施や市民による社会実験を支援しました。(中心市街地賑わい創出活動支援事業)  
コーディネーター養成講座3回, 社会実験3回



【アートウォーク  
(作品作り体験の様子)】



【ルクシアタ 灯りの地上絵アート】



【中心市街地賑わい創出活動支援事業  
(社会実験の様子)】



【エフピコR i M】

### 【成果】

- 秋のイベントは、中心市街地で多彩なイベントを同時期に行うことで、効果的な賑わいの創出ができました。(アートウォーク約53,000人, うずみフェスタ約32,000人)
- 中心市街地の活性化に向け、市民が主体となった新たな賑わい創出の取組が定着しつつあります。

分野： チャレンジ！100周年

## 里山里地の再生・保全(決算額:38,035千円)

担当課： 経済環境局農林水産部農林水産課  
地産地消推進課 ほか

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○里山里地の再生・保全活動に取り組む地域への支援

- ・里山里地モデル地域の主な取組  
赤坂町：伐採木を利用したしいたけの栽培  
山野町：耕作放棄地を活用した麦，そばなどの栽培  
山手・津之郷町：いのしし防護柵設置，竹炭などの生産
- ・モデル地区を新規に5地区設定し，耕作放棄地の再生・活用への支援を行いました。

#### ○市民等との協働による取組

- ・地域団体と協働で活動を行う「里山里地協力隊」の育成・支援を行いました。（登録者数141人，活動数32回，参加者延人数344人）
- ・市民との協働による希少野生動植物等の生息状況の調査や，市民調査登録者を対象とした研修会を実施しました。（登録者数64人，研修会3回，参加者延人数69人）

### 【成果】

- 169aの耕作放棄地を解消しました。
- 地域団体と里山里地協力隊との協働活動により，地域資源を活かした取組が進むなど，農山村地域の再生と活性化が図られています。
- 希少野生動植物等の生息状況調査を通じて，市民の生物多様性への理解が深められています。（市民調査報告件数55件）



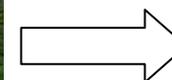
【山野町「耕作放棄地の笹刈り」】



【山手・津之郷町「いのしし防護柵の設置」】



【耕作放棄地】



【再生作業中】



【再生作業後】



分野： チャレンジ！100周年

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクトI

## いきいき環境・健康スローライフ(決算額:41,931千円)

(うち,再掲分 41,931千円)

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課  
ふくやま魅力発信課 ほか

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### ○「農」を通じた地域活動

- ・地域団体と協働で活動を行う「里山里地協力隊」の育成・支援を行いました。(※再掲)
- ・耕作放棄地の再生・活用への支援(※再掲)
- ・食用ばらの試験栽培(※再掲)

#### ○食育・地産地消の推進

- ・学校や保育所給食への市内産農産物の使用を拡大しました。
- ・福山うずみフェスタの開催(※再掲)

#### ○新たな商品づくり

- ・新たな商品開発や販路開拓の取組を支援しました。



【散策道や水路の草刈り(山手町)】



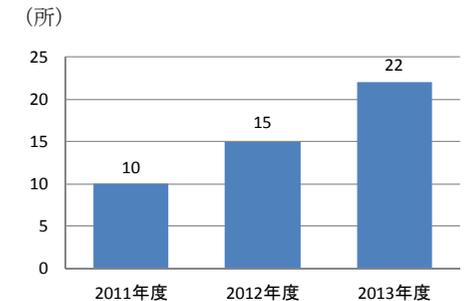
【食育セミナー(うずみフェスタ)】

### 【成果】

- 地域団体と里山里地協力隊との協働活動により、地域資源を活かした取組が進んでいます。
- うずみなどの郷土料理を通して、地産地消や食育の理解向上につながっています。  
(福山うずみフェスタ来場者 32,000人)  
(市内産農産物を直接納入している施設 小学校68校  
給食センター2所 保育所22所)
- 「くわい」を活用した新商品が開発されました。



【市内農産物を使用した給食】  
(市制施行記念日メニュー)



【市内農産物納入保育所数】

分野： チャレンジ！100周年

環境と健康を融合させた新たな都市社会の提案 プロジェクトⅡ

## 環境にやさしく活力ある地域社会の構築(決算額:226,687千円)

(うち、緊急経済対策分 37,429千円 再掲分 141,228千円)

担当課： 経済環境局環境部環境総務課  
建設局土木部土木管理課  
ほか

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○エネルギーの地産地消・温暖化対策

- ・環境教育・環境学習におけるパートナーシップの構築に取り組みました。(環境学習出前講座 150回、環境教育・環境学習講師紹介 個人67件 団体11件 事業者18件)
- ・公共施設へ緑のカーテンを設置しました。(234施設)
- ・防犯灯のLED灯への切り替え(10,364灯)(※再掲)

#### ○交通手段の変更

- ・ノーマイカー運動(ベスト運動)を推進しました。(ベスト会員登録者数 19,300人)
- ・レンタサイクル社会実験を行いました。(レンタサイクル利用者数(1月20日～3月19日 59日間) 延べ858人)
- ・自転車通行ゾーンの整備など

#### ○環境観光の振興

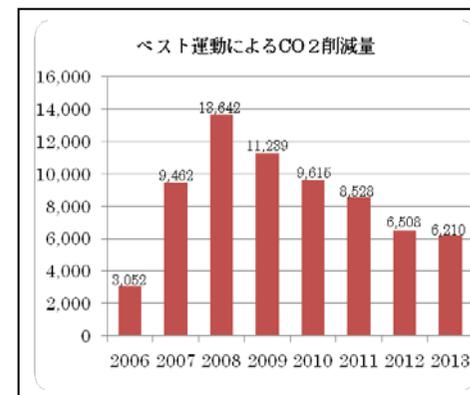
- ・環境関連施設へのバス見学を行いました。(17回)



【レンタサイクル福山駅前ポート】



【次世代エネルギーパークに関する情報発信】



【自転車通行ゾーンの整備】

### 【成果】

- ベスト運動により、二酸化炭素を6,210トン削減しました。
- LED灯への切り替えにより、二酸化炭素を675トン削減しました。

分野： チャレンジ！100周年

## 21世紀を担う人材育成(決算額:1,163,430千円)

(うち、再掲分 1,163,430千円)

担当課： 教育委員会管理部教育総務課  
施設課 ほか

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○小中一貫教育の推進（※再掲）

- ・小中一貫教育カリキュラムの作成・実施
- ・連携型小中一貫教育推進モデル中学校区を指定（城北，鷹取 鞆中学校区）
- ・小中教員による全体研修会を実施
- ・校区内の小学生による合同学習会を実施
- ・望ましい教育環境について検討する「学校教育環境検討委員会」を開催
- ・「(仮称)ふるさと学習」副読本作成検討委員会を開催

#### ○地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）（※再掲）

- ・3会場（東，一ツ橋，駅家南）を開設（合計14会場）

#### ○教育環境の整備（※再掲）

- ・学校施設の耐震化（屋内運動場整備事業，校舎改修ほか）
- ・通学路の安全対策

### 【成果】

#### ○小中一貫教育の推進

- ・小中学校のつながりが深まっています。
- ・小中9年間を見通した教育に対する教職員の意識が高まっています。

#### ○地域学習活動の支援（土曜チャレンジ教室）

- ・児童生徒の学習習慣の定着や学習意欲の向上が見られます。



【小中教員の合同研修】



【校区小学生の合同学習会】



【土曜チャレンジ教室の様子】



【蔵王小学校耐震補強工事】

分野： チャレンジ！100周年

## “持続可能なまち”を創るための人材育成ネットワーク (決算額:5,437千円) (うち、再掲分 5,437千円)

担当課： 市民局まちづくり推進部生涯学習課  
協働のまちづくり課 ほか

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

- 「福山防災大学」や「ふくやま環境大学」などのほか、人がつながり、まちづくり活動を学び合う場として、「ふくやま・まちづくり大学」を開講するなど、防災や環境、福祉など幅広い分野で講座を開催しました。（※再掲）
- 人材育成ネットワーク共通のロゴマークを活用した広報活動を行うなど、横断的な情報発信を行いました。

#### 主な講座

福山防災大学、ふくやま環境大学、市民後見人養成講座  
ふくやま・まちづくり大学、福山ばら大学、ふくやま人権大学 など



【福山防災大学 特別講演】



【福山ばら大学 接ぎ木の実習】

### 【成果】

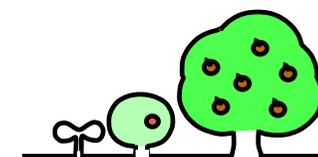
- 活動の中心的役割を担う人材の育成を行うとともに、修了者については、行政の出前講座などへ講師として参画しています。（福山防災大学、ふくやま環境大学、福山ばら大学）

#### 〈主な講座の修了者数〉

- ・福山防災大学：73人
- ・ふくやま環境大学：27人
- ・市民後見人養成講座：48人
- ・ふくやま・まちづくり大学：45人
- ・福山ばら大学：60人
- ・ふくやま人権大学：26人



【ふくやま♥まちづくり大学 ワークショップ】



チャレンジ！100周年  
人材育成ネットワーク事業

【共通ロゴマーク】

分野： 教育 柱立て： 学校教育の充実

## 小中一貫教育の推進（決算額：12,398千円）

担当課： 教育委員会学校教育部指導課  
管理部教育総務課

期 間 2012年度（平成24年度）～2014年度（平成26年度）

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### （1）小中一貫教育カリキュラムの作成・実施

各中学校区が、校区課題を改善するための小中一貫教育カリキュラム案を作成しました。

#### （2）連携型小中一貫教育推進モデル中学校区の指定

城北・鷹取・鞆中学校区を指定し、カリキュラム作成や中学校区の組織づくりに取り組みました。

#### （3）小中一貫教育推進懇話会の開催（3回）

中学校区を単位とする学校と地域の連携の在り方について検討しました。

#### （4）小中一貫教育全体研修の実施（3回）

モデル中学校区の成果を全中学校区に普及しました。

#### （5）学校教育環境検討委員会の開催（3回）

小中一貫教育を推進する上で望ましい教育環境について検討しました。

#### （6）「(仮称)ふるさと学習」副読本作成検討委員会開催（4回）

「(仮称)ふるさと学習」副読本作成のための検討委員会を開催しました。

### 【成果】

○2015年度（平成27年度）からの小中一貫教育全面実施に向け、中学校区の実態に応じた取組を行いました。

- ・カリキュラム案の作成：全35中学校区
- ・校区小中学校教員の合同研修の実施：全35中学校区
- ・小中学生の合同行事等の実施：全35中学校区



【小中教員の合同研修】



【校区小学生の合同学習会】



【地域ボランティア清掃】



【地域行事への参加】

### 【市民アンケートにおける小中学生の変化についてのコメント】

- ・小中学生が地域住民と、あいさつや会話をするが増えた
- ・小中学生の奉仕活動や地域行事への参加が増えた など

分野： 教育 柱立て： 学校教育の充実

## 地域学習活動の支援(土曜チャレンジ教室)(決算額:1,099千円)

担当課： 教育委員会学校教育部指導課

期 間	2011 年度（平成 23 年度）～	数 値 目 標	土曜チャレンジ教室の新規開設 10 会場
		数 値 実 績 (2014年3月末)	新規開設 3 会場

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○土曜チャレンジ教室の運営・開設

児童生徒が会場となる公民館などで、地域のボランティア講師（退職教職員・市立大学生など）に教わりながら、月2回程度（第2・4土曜日、1回2時間）、復習を中心とした自学自習を行いました。

〈新規開設〉 6月 東中学校区 旭公民館（水曜日）  
8月 一ツ橋中学校区 長浜公民館  
2月 駅家南中学校区 駅家公民館



【土曜チャレンジ教室の様子】

#### ○2013年度（平成25年度）の開設状況

校 区	場 所	児童生徒数	ボランティア数 ( )は大学生
東中学校区	東ふれあいプラザ	11	15(8)
	旭公民館（水曜日）	25	11(11)
城南中学校区	城南ふれあいプラザ	17	12(5)
幸千中学校区	千田公民館	15	10
大成館中学校区	神村公民館	17	6
松永中学校区	松永公民館	30	7
精華中学校区	金江公民館	9	10
中央中学校区	西深津公民館	20	3
一ツ橋中学校区	長浜公民館	23	3
駅家南中学校区	駅家公民館	17	5
常金中学校区	常金丸公民館	4	4
新市中央中学校区	新市公民館	17	6(1)
神辺東中学校区	御野公民館	12	7
神辺西中学校区	神辺公民館	30	9(2)
	計	247	108(27)

### 【成果】

- 参加児童生徒のアンケートで、「分かったと思うことが増えた」「学習の仕方が身に付いた」などの回答が9割を超えました。
- 「頑張ろうという気持ちになった」「分からないところを、先生や友だちに教えてもらうようになった」などの感想も寄せられ、学習習慣の定着や学習意欲の向上につながりました。
- 福山市立大学の学生や塾が運営するオーナー制による教室が新たに開設されるなど、児童生徒をサポートする体制が充実してきました。

分野： 教育 柱立て： 文化財の保護と活用

担当課： 教育委員会文化スポーツ振興部文化課

## 鞆地区町並み保存(決算額:4,183千円)

期 間	2007 年度（平成 19 年度）～	数 値 目 標	町並み保存事業補助件数 6 件
		数 値 実 績 (2014年3月末)	町並み保存事業補助件数 4 件

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○町並み保存事業補助

町並み保存地区内の建造物などの修理・修景を支援し、歴史的景観の整備を進めました。

- ・補助件数 4 件（修理 2 件，応急処置 1 件，修景 1 件）

#### ○町並み保存の啓発

住民が町に愛着や誇りを持てるよう，鞆の浦の町並みの多彩な魅力や，あゆみを紹介したパンフレットを作成しました。

- ・鞆 町並みの魅力：3,000 部作成
- ・福山市鞆町伝統的建造物群保存地区散策ガイド  
鞆の浦を歩こう：30,000 部作成



【修景前・・・昭和戦後の建物】



【修景後・・・歴史的景観に調和】

### 【成果】

○市単独の補助事業により，貴重な文化財である鞆の町並みを守っています。（2013 年度（平成 25 年度）までに 63 件の事業を実施）



【左：散策ガイド 鞆の浦を歩こう  
右：鞆 町並みの魅力】

分野： 環境      柱立て： 地球環境の保全

## LED防犯灯の整備(決算額:141,228千円)

担当課： 建設局土木部土木管理課

期 間	2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度)	数 値 目 標	約32,000灯(2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度))
		数 値 実 績 (2014年3月末)	31,961灯(2011年度(平成23年度)～2013年度(平成25年度))

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

地域の安心・安全や環境にやさしいまちづくりを進めるため、防犯灯を省エネで長寿命が特長であるLED灯へ10,364灯切り替えました。(3年間で市内全ての防犯灯を切り替え済)

年度	切り替え灯数
2011(平成23)	11,456
2012(平成24)	10,141
2013(平成25)	10,364
合計	31,961

### 【成果】

LED灯への切り替えにより、発電の際に発生する温室効果ガス(二酸化炭素)を1年間で675トン削減しました。

年度	削減温室効果ガス量(トン)
2011(平成23)	82
2012(平成24)	395
2013(平成25)	675
合計	1,152



【LED防犯灯】

分野： 活力 柱立て： 鞆地区の再生・活性化

## 鞆地区まちづくりの推進(決算額:417,320千円) (うち、再掲分 146,909千円)

担当課： 建設局都市部都市計画課 企画総務局総務部総務課  
経済環境局経済部観光課  
教育委員会文化スポーツ振興部文化課  
消防局総務部総務課 上下水道局工務部下水道建設課

期間 2005年度(平成17年度)～

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

鞆の現状を鑑み、市としてでき得る取組の一環として、支所・公民館の再整備を柱とした公共施設のあり方について、鞆学区まちづくり推進委員会と意見交換を行いました。

#### (1) 鞆地区公共施設整備

鞆支所・公民館の再整備に向けた測量・地質調査を行い、基本設計に着手しました。

#### (2) 下水道整備事業

快適で衛生的な生活環境を確保するため、汚水管渠(幹線・枝線)の整備を行いました。

#### (3) 市営渡船場待合所改修事業

観光客の快適性の向上を図るため、市営渡船場待合所(1階)の改修を行いました。

#### (4) 鞆地区町並み保存(※再掲)

#### (5) 南消防署鞆出張所改築事業(※再掲)

### 【成果】

○鞆地区の生活環境や鞆を訪れる観光客の快適性の向上、鞆地区を中心とした市南部の地域防災機能の強化、歴史的景観の保全につながっています。



【鞆地区町並み保存(修景後)】



【南消防署鞆出張所(完成予想図)】

分野： 活カ 柱立て： 都市ブランドの創出と発信

## 「福山らしさ」の創出(決算額:145,243千円) (うち、再掲分 120,888千円)

担当課： 企画総務局企画政策部ふくやま魅力発信課  
市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課  
教育委員会文化スポーツ振興部文化課

期間 2007年度(平成19年度)～

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### (1) 地域の魅力を活かした福山ブランドの形成

ひとづくり、ものづくりなど5つの戦略で構成される「福山市都市ブランド戦略」を策定しました。

#### (2) 福山らしさの発信

○食のブランド化事業として、「福山うずみフェスタ 2013」を開催(11月3日、4日)しました。

○「島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞」の選考や特別講演会「森村誠一VS島田荘司 創作の周辺」を開催(5月18日)しました。

○まんが「福山を知ローゼ」を作成し、小学校などに配布しました。

○100万本のばらのまちづくりの推進(※再掲)

### 【成果】

○都市ブランドロゴマーク、キャッチコピーをデザインしたポスターを作成するなど、積極的に都市ブランド戦略と福山の魅力的な地域資源を発信しています。

○「福山うずみフェスタ 2013」(来場者:32,000人)の開催など郷土料理「うずみ」をPRすることで、知名度や魅力の向上につながっています。

○まんが「福山を知ローゼ」などを通して、子どもたちが福山の歴史に触れることで郷土への愛着や誇りを育んでいます。

第1集「阿部正弘」販売、第2集「井伏鱒二」作画製本・配布、  
第3集「窪田次郎」原作制作



【島田荘司選 ばらのまち福山ミステリー文学新人賞  
第6回受賞作発表記者会見】



【まんが「福山を知ローゼ」  
第2集 まんが物語井伏鱒二】



【福山市都市ブランドのロゴマークとキャッチコピー】

分野： 活力 柱立て： 市民の自立と参画

## 協働のまちづくりの推進(決算額:10,785千円) (うち、再掲分 2,101千円)

担当課： 市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課  
生涯学習課  
企画総務局総務部危機管理防災課  
経済環境局環境部環境啓発課 ほか

期 間	2005 年度 (平成 17 年度) ~	数 値 目 標	人材育成講座の創設 新規 8 講座
		数 値 実 績 (2014年3月末)	人材育成講座の設置数 新規 7 講座

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### ○人材育成講座の創設

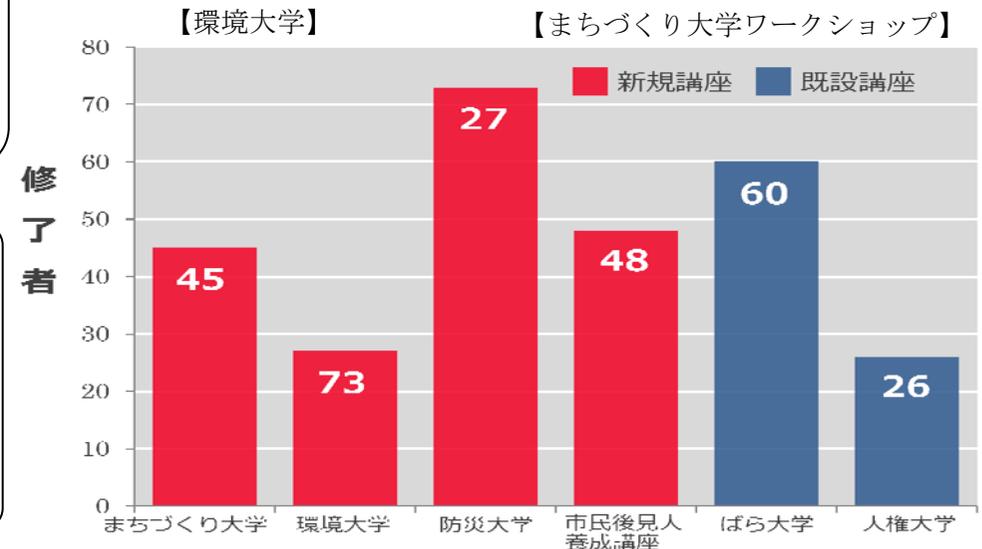
- ・ふくやま・まちづくり大学：持続可能なまちづくりの実現に向けて、まちづくりのリーダーを養成する 10月開講
- ・ふくやま環境大学：温暖化対策などの環境保全の取組を学ぶ 6月開講
- ・福山防災大学：地域の防災や減災の対策を学ぶ 6月開講
- ・福山市市民後見人養成講座：市民後見人の養成及び資質向上等のための研修等 7月開講

#### ○地域まちづくり計画策定支援

計画未策定学区へのサポートを行うとともに、策定学区の計画を推進するための活動を支援しました。

### 【成果】

- 各講座の修了者により、学びを通じたまちづくりへの参画が行われています。
- 「地域まちづくり計画」策定により、地域の実態に応じたまちづくりが進んでいます。(2013年度(平成25年度)までに15学区が策定)



【主な2013年度各人材育成講座修了者数】

分野： 活力 柱立て： 効率的・効果的な行政運営の推進

## 公共施設サービスの再構築(決算額： 一 千円)

担当課： 財政局財政部資産経営戦略課

期 間 2011 年度 (平成 23 年度) ~

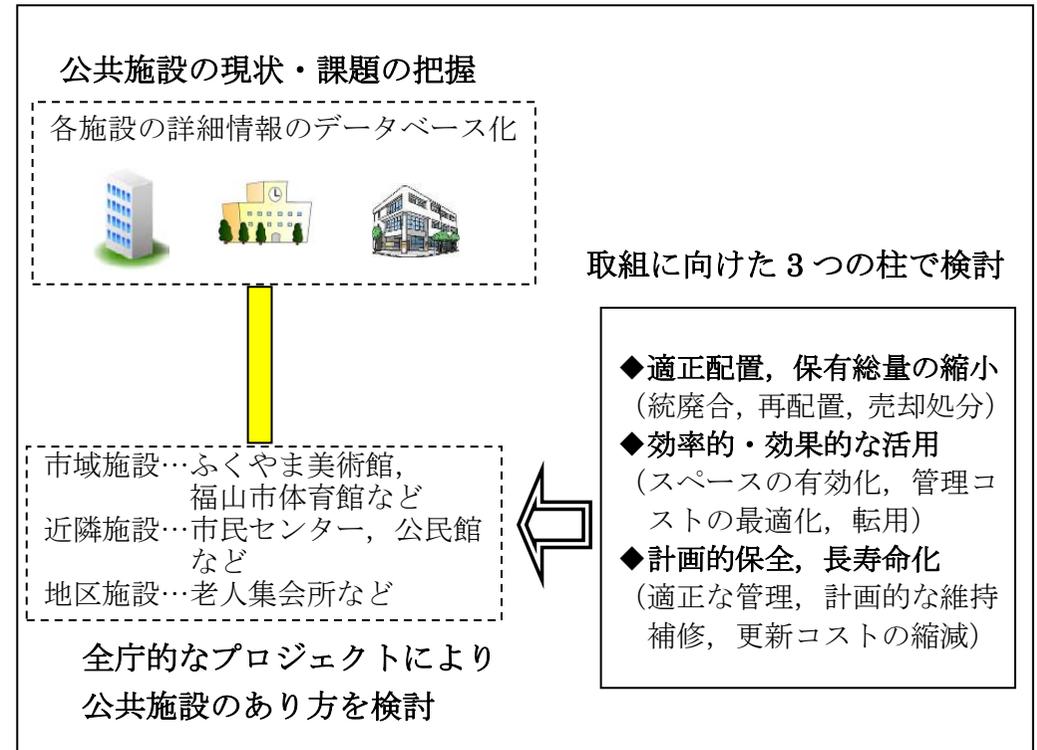
### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

○公共施設の維持管理コスト・機能・利用状況などの情報を一元化し評価分析を行うため、公共施設マネジメントシステムの構築に取り組みました。

### 【成果】

○市が保有する公共施設の維持管理コストや利用状況などの情報を一元化することができました。

### 【具体的な推進のイメージ図】



分野： 活力 柱立て： 地域の活性化

## 産学官連携の推進(決算額:1,577千円)

期 間	2011 年度 (平成 23 年度) ~
-----	----------------------

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### (1) 市立大学との連携事業の実施

「福山駅周辺の市街地における活性化」など6つのテーマについて、市と市立大学が共同で調査研究を行いました。

- ・福山駅周辺の市街地における活性化
- ・災害に強い都市づくり
- ・協働のまちづくり(包括的協働プランニング)
- ・福山市の保幼小連携に関する研究
- ・福山市における子どもの生活実態調査
- ・発達障がい児の事例検討を通じた研修

#### (2) 産学官連携の推進

産・学・官の団体のトップからなる懇話会を開催し、意見交換を行ったほか、具体的な取組を推進するため、福山市産学官連携推進会議を設置しました。(推進会議 計6回開催)

### 【主な成果】

#### (1) 市・市立大学連携事業

中心市街地の新たなにぎわい創出や地域のまちづくり計画策定、保幼小の連携を深めることなどができました。

#### (2) 産学官連携の推進

ビジネス交流フェアに初めて大学と行政が参加するなど、産学官が効果的に連携できる仕組みづくりのための取組を進めました。

#### (3) 福山大学との連携

市と福山大学との連携を進めるための仕組みづくりを行いました。

担当課： 企画総務局企画政策部企画政策課



【福山市・福山大学包括協定調印式】



【福山市産学官連携推進懇話会】

分野： 活力 柱立て： 地域の活性化

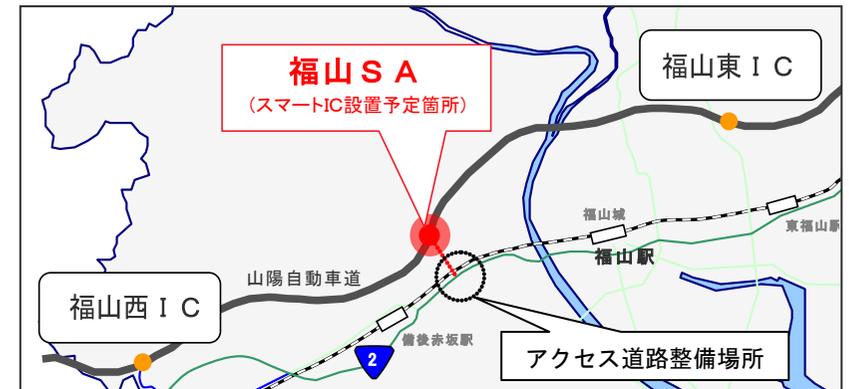
## スマートIC(インターチェンジ)の整備 (決算額： 一 千円)

担当課： 建設局土木部幹線道路推進室

期 間 2012 年度 (平成 24 年度) ~2017 年度 (平成 29 年度)

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

- 福山SA(サービスエリア)スマートIC設置に伴い、山陽自動車道と市道との連結申請を行いました。
- アクセス道路の一部(津之郷4号線)の測量設計に着手しました。
- 警察との協議や県・西日本高速道路㈱との連携・協議を行いました。
- 地元関係自治会への説明会を開催し、スマートICの設置とアクセス道路の整備について概要説明を行いました。



### 【成果】

- 福山SAスマートICについて、6月11日付けで山陽自動車と市道との連結が国土交通大臣から許可されました。
- スマートIC本体に関連する設計・施工を委託するため、西日本高速道路㈱と基本協定を結びました。



【国土交通省から許可書の授与】

分野： 福祉 柱立て： 障がい者・高齢者福祉の充実

## 障がい者・高齢者の相談支援体制の充実(決算額:90,161千円) (成年後見制度の利用支援など)

担当課： 保健福祉局福祉部障がい福祉課  
長寿社会応援部高齢者支援課

期間 2013年度(平成25年度)～

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### (1) 障がい者相談支援体制の強化

基幹相談支援センターの設置など、障がいのある人への相談支援体制を充実するとともに、障がい者虐待防止センターによる虐待の早期発見・早期対応に取り組みました。

#### (2) 成年後見制度の利用支援

認知症高齢者や障がいのある人などで十分な判断ができない人が容易に成年後見制度を利用できるよう、制度の利用に関する相談支援や普及啓発を行いました。また、制度の新たな担い手として市民後見人の養成に取り組みました。



【市民後見人養成講座】

### 【成果】

○相談支援体制の充実により各種相談が増えるとともに、虐待の早期発見・早期対応につながっています。

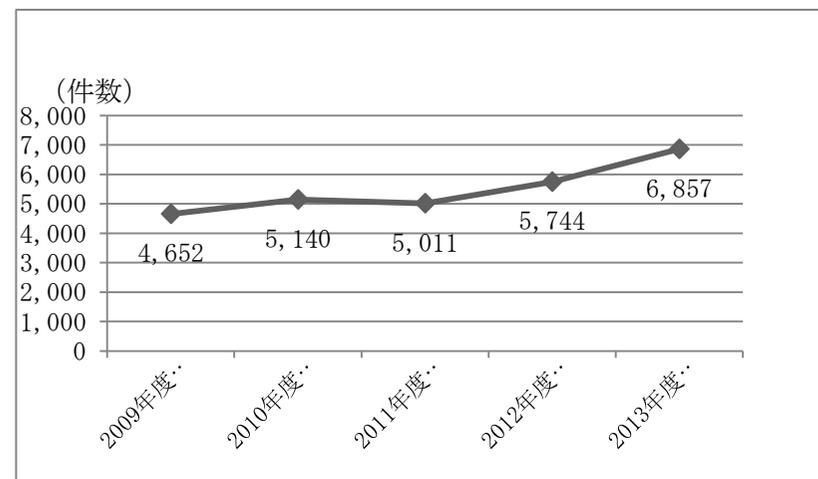
(基幹相談支援センターの利用状況)

- ・総合相談・専門相談 6,857件
- ・障がい者虐待の相談・通報 48件

○成年後見制度を周知・啓発することで、センターの利用につながりました。

(権利擁護支援センターの利用状況)

- ・成年後見制度などに関する相談 118件
- ・市民後見人の養成講座修了者 48人



【障がい者(児)総合相談・専門相談の件数】

分野： 福祉 柱立て： 社会参加に向けた自立支援

## 生活保護受給者の自立支援（決算額：12,009千円）

担当課： 保健福祉局福祉部生活福祉課

期 間	2012年度（平成24年度）～	数 値 目 標	自立支援プログラムの選定件数※ 300件 （※働く能力がある生活保護受給者への個別就労支援実施件数）
		数 値 実 績 （2014年3月末）	自立支援プログラムの選定件数 327件

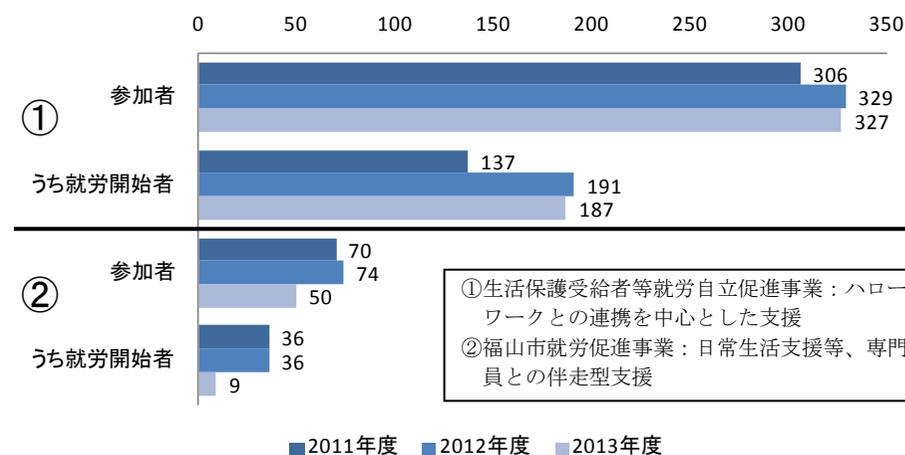
### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### （1）就労支援事業

生活保護受給者で就労可能な人に対し、就労相談専門員を配置するとともに、ハローワークなどと連携して、職業紹介や就労訓練支援などに取り組みました。

#### （2）子どもの健全育成支援事業

家庭・教育支援員、家庭訪問員を配置し、高校進学への支援や不登校等の改善支援を行うとともに、「子どもの居場所」において生活相談や学習支援などにも取り組みました。また、社会体験の少ない子どもたちにボランティア体験や野外活動などができる場を設定しました。



### 【成果】

#### （1）就労支援事業

生活習慣の改善指導やコミュニケーション力の向上などの支援を行うことにより、就労開始へつなげることができました。

#### （2）子どもの健全育成支援事業

支援員などによる家庭支援や「子どもの居場所」参加の取組によって、高校進学率の向上や不登校改善につながっています。

「子どもの居場所」開設数 55回 参加述べ人数 586人



【「子どもの居場所」での進路相談や学習支援の様子】

分野： 安心・安全 柱立て： 地域医療体制の充実

## 病院施設の整備（決算額：1,130,542千円）

担当課： 福山市民病院事務部経営企画課

期 間	2008 年度（平成 20 年度）～2013 年度（平成 25 年度）
-----	-------------------------------------

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### （1）病院機能の充実

既存棟（本館1階～3階ほか）の改修工事を実施し、病院機能を充実しました。（全体竣工11月）

- ・ 外来診察室の増設
- ・ 臨床検査部門（生理機能検査室，検体検査室）の充実
- ・ 病理検査部門の充実
- ・ 研修機能の充実（シミュレーション室，看護研修生控室の新設）など

#### （2）立体駐車場の整備

駐車場スペースを確保するため，立体駐車場を整備しました。また，来院者の利便性の向上のため，エレベーターを設置しました。

- ・ 駐車台数 約 350 台（うち，Ⅱ期工事分 約 180 台）

### 【成果】

- 外来診療・検査部門などの病院機能と，506 床を有する地域の中核病院としての研修機能が充実しました。
- 駐車可能台数が約 1,000 台となり，来院者の利便性が向上しました。



【外来診察室】



【病理検査部門】



【立体駐車場】



分野： 安心・安全 柱立て： 地域医療体制の充実

## 救急医療体制の確保(決算額:10,363千円)

担当課： 保健福祉局保健部総務課

期 間	2013 年度 (平成 25 年度) ~ 2017 年度 (平成 29 年度)	数 値 目 標	小児二次救急夜間空白日の解消
		数 値 実 績 (2014年3月末)	小児二次救急夜間空白日の解消

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

○広島県と連携し岡山大学に開設した寄附講座により、小児救急医療体制に関する調査研究や、適正受診に関する啓発に取り組みました。

- ・小児救急担当医師の不足などにより、夜間に重症患者を受け入れる二次救急病院が決まっていない日(夜間空白日)を解消するため、診療の援助を行いました。
- ・小児科医・研修医・看護師などを対象に心疾患講習会を2回開催しました。

○救急時の初期対応や適正受診の啓発のため、地域住民や学校関係者を対象に講習会を11回開催しました。



【市民講座(1回目)】

シナリオをもとに、救急時の初期対応の実技演習などを実施しました。



【市民講座(2回目)】

多くの方に参加いただけるよう、子どもと楽しく遊べるイベントを同時に開催しました。

### 【成果】

○小児二次救急夜間空白日が解消されました。

(2012年度 54日, 2013年度 0日)

○地域住民約300人, 学校関係者約400人が講習会に参加され、救急医療に対する認識の向上につながりました。

○二次救急輪番病院への1日あたりの受診者を減らすことができました。(6.7人→6.3人)

### 夜間空白日の推移

2010年度	夜間空白日	3日
2011年度	"	70日
2012年度	"	54日

2013年度	夜間空白日	0日
--------	-------	----



分野： 安心・安全 柱立て： 消防・救急体制の充実

## 消防・救急体制の整備（決算額： 1, 218, 443千円） （うち、緊急経済対策分 705, 510千円）

担当課： 消防局総務部総務課

期 間	2005 年度（平成 17 年度）～
-----	--------------------

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### （1）北消防署の改築

建設工事を行いました。

- ・ 事業期間 2011 年度（平成 23 年度）～2013 年度（平成 25 年度）
- ・ 建物概要 鉄筋コンクリート造 4 階建
- ・ 延べ面積 1, 801. 66 m<sup>2</sup>

#### （2）南消防署輦出張所の改築

2014 年度（平成 26 年度）の完成に向け、建設工事に着手しました。

- ・ 事業期間 2012 年度（平成 24 年度）～2014 年度（平成 26 年度）
- ・ 建物概要 鉄筋コンクリート造 5 階建
- ・ 延べ面積 1, 451. 13 m<sup>2</sup>

#### （3）消防救急デジタル無線設備整備

消防救急デジタル無線（260MHZ 帯）設備（共通波）の整備を行いました。



【消防救急デジタル無線イメージ図】



【北消防署】

### 【成果】

- 中心市街地を管轄する北消防署が完成し、2013 年（平成 25 年）11 月 11 日から業務を開始しました。
- 輦地区を中心とした市南部を管轄する防災拠点として、南消防署輦出張所建設工事に着手しました。
- 2016 年（平成 28 年）5 月末の消防救急デジタル無線移行に向け、計画どおり事業を実施しました。

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり

## 水道施設の耐震化(決算額:40,997千円)

担当課： 上下水道局施設部施設整備課

期間 2007年度(平成19年度)～

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

地震などの災害に強い安定した水道の給水体制を確立するため、水道施設の耐震化や耐震補強を行いました。

#### (1) 取水施設の耐震補強

中津原浄水場の取水施設(取水路<sup>※</sup>)の耐震補強を行いました。

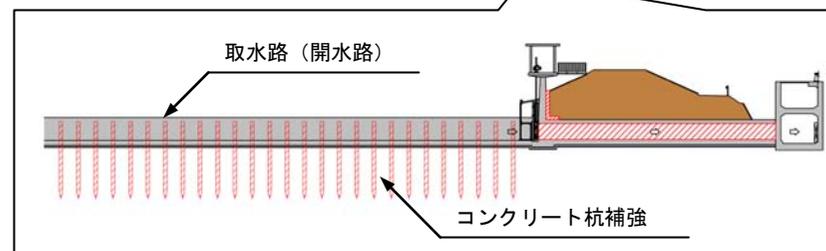
- ・延長 150m(開水路120m,暗渠30m)

※取水路・・・河川から取水する水路

#### (2) 水質管理センター棟の改築

老朽化した中津原浄水場の水質管理センター棟の改築工事に着手しました。

- ・鉄筋コンクリート造 5階建(延床面積約2,600㎡)



【取水施設耐震補強工事の状況】



【水質管理センター棟の完成イメージ図】

### 【成果】

○災害に強い施設の整備を行うことにより、水道機能の停止の抑制につながっています。

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり

## 下水道施設の耐震化(決算額:302,141千円)

(うち, 緊急経済対策分 250,000千円)

担当課： 上下水道局工務部下水道施設課

期間 2009年度(平成21年度)～2013年度(平成25年度)

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

下水道地震対策緊急整備計画に基づき, 防災拠点(市役所本庁舎)や広域避難場所から流域下水道幹線までの下水道施設の耐震化を進めるとともに, 緑町公園へマンホールトイレの設置を行いました。

#### (1) 下水道管渠の耐震化

管渠の接続部の離脱やマンホールからの抜け出しを防止する工事を行いました。

・延長 811.3m

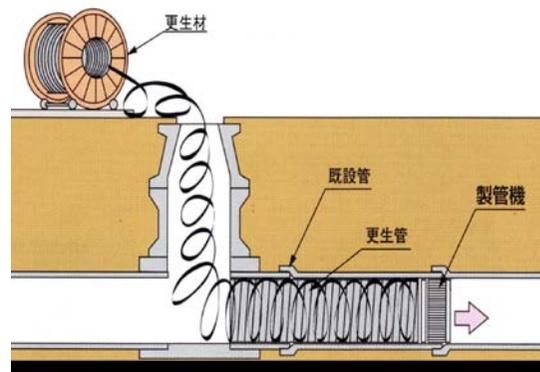
#### (2) マンホールの耐震化

液状化によるマンホールの道路面からの浮き上がりを防止する工事を行いました。

・延長 280.0m

#### (3) マンホールトイレ(災害時仮設トイレ)の整備

・整備数 20基



【下水道管渠耐震化工事イメージ】

(既設管渠の中に, 地震に強い管を新たに造る)



【下水道管渠耐震化工事完成】



【マンホールトイレ整備】

### 【成果】

○下水道地震対策緊急整備計画に基づく整備を行うことにより, 地震による下水道機能の停止の抑制につながっています。

分野： 安心・安全 柱立て： 災害に強いまちづくり  
**学校施設の耐震化（決算額：1,073,981千円）**  
 （うち、緊急経済対策分 975,651千円）

担当課： 教育委員会管理部施設課  
 福山中学校・高等学校

期 間	2006 年度（平成 18 年度）～
-----	--------------------

**【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】**

児童生徒が安心して安全に学べるとともに、災害発生時の地域住民の応急避難場所としての役割が果たせるよう、耐震補強などを行いました。

**(1) 屋内運動場整備**

○小学校 改修 10 校（神村，本郷，長浜，駅家東，西深津，野々浜幕山，久松台，山手，日吉台）

耐震補強設計 14 校

○中学校 耐震補強設計 4 校

○福山中学校・高等学校 耐震補強設計

**(2) 校舎改修**

○小学校 改修 9 校（旭，蔵王，御幸，坪生，松永，柳津，藤江曙，駅家）

耐震補強設計 16 校

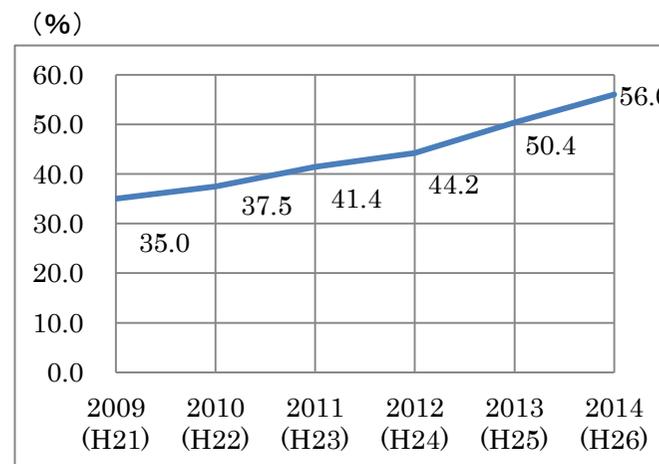
○中学校 改修 2 校（培遠，中央），耐震補強設計 4 校

○福山中学校・高等学校 耐震補強設計

**(3) 屋内運動場天井撤去**

○小学校 改修 3 校（網引，湯田，道上）

○中学校 改修 1 校（神辺西）



【小・中学校の耐震化率】

**【成果】**

○小・中学校の屋内運動場や校舎の耐震化率が向上しました。

分野： 安心・安全 柱立て： 安心・安全な給水の確保

## 出原浄水場の更新(決算額:1,072,342千円)

担当課： 上下水道局工務部配水管整備課  
施設部施設整備課

期 間	2010 年度（平成 22 年度）～2015 年度（平成 27 年度）
-----	-------------------------------------

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

2012 年度（平成 24 年度）に着手した急速ろ過池の機械設備の設置を始め、導水管の布設や布設替、送水管の布設、送水ポンプの設置を行いました。

#### (1) 急速ろ過池機械設備の設置

急速ろ過池の機械、電気設備の設置を行いました。

#### (2) 導水管の布設及び布設替

導水管<sup>※1</sup>（口径 200mm～500mm）の布設及び布設替を行いました。

・延長 577.0m

#### (3) 送水管の布設

送水管<sup>※2</sup>（口径 700mm）の布設を行いました。

・延長 614.6m

#### (4) 送水ポンプの設置

送水ポンプ（6.7m<sup>3</sup>/分 揚程<sup>※3</sup>50m 出力 90kW）4 台の設置を行いました。

※1 導水管・・・河川・井戸から取水した水を浄水場内へ導く管

※2 送水管・・・浄水場から配水池へ水を送る管

※3 揚 程・・・ポンプの水をあげる高さ



【急速ろ過池機械設備設置工事】



【送水ポンプ設置工事】

分野： 安心・安全 柱立て： 市民の安全対策

## 歩道・自転車走行空間の整備(決算額:325,396千円) (うち、緊急経済対策分 121,570千円 再掲分 46,825千円)

担当課： 建設局土木部道路整備課  
教育委員会学校教育部学校保健課

期間 2002年度(平成14年度)～2020年度(平成32年度)

### 【2013年度(平成25年度)に取り組んだこと】

#### (1) 歩道のバリアフリー化

高齢者、障がいのある人などが移動の際に身体の負担が軽減されるよう、移動の利便性や安全性を高めるために、歩道のバリアフリー化に取り組みました。

- ・福山駅周辺地区(草戸松浜幹線外1路線)整備延長L=510m
- ・東福山地区(東福山駅伊勢丘幹線外2路線)整備延長L=460m

#### (2) 通学路の安全対策

通学時における児童生徒の安全確保のため、通学路の整備に取り組みました。

- ・対策済箇所 37箇所

#### (3) 自転車通行ゾーンなどの整備(※再掲)

自転車と歩行者の双方が安全に安心して道路を利用できるように自転車通行ゾーンなどの整備に取り組みました。

- ・御幸地吹幹線 整備延長L=410m
- ・福山駅南手城幹線 整備延長L=180m



【歩道のバリアフリー化】



【自転車通行ゾーンの整備】

### 【成果】

○歩行者と自転車の利便性・安全性の向上につながっています。

分野： 安心・安全 柱立て： 市民の安全対策

## 交通施設バリアフリー設備の整備(決算額:126,083千円)

担当課： 建設局都市部都市交通課

(うち、緊急経済対策分 126,083千円)

期 間	2005 年度（平成 17 年度）～ 平成 20 年代半ば
-----	-------------------------------

### 【2013年度（平成25年度）に取り組んだこと】

#### ○交通施設バリアフリー設備整備事業

高齢者を始め、全ての鉄道利用者がより円滑に駅を利用することができるよう、道路から駅の自由通路を結ぶエレベーターを設置しました。



### 【成果】

○JR東福山駅の自由通路にエレベーターを設置したことにより、駅利用者の利便性・安全性の向上や駅南北の移動の円滑化につながっています。



【JR 東福山駅エレベーターの外観】



【JR東福山駅エレベーター内】



【自由通路からエレベーターまでの連絡通路】